

ほけんしつだより 3月号

保護者のみなさまへ

令和7年3月17日発行 No.9

八鹿小学校 保健室

令和6年度学校保健委員会の報告

去る2月28日(金)学校保健委員会を開催いたしました。概要を報告させていただきます。

<八鹿小学校の子どもたちの健康状況 報告>

- ◆**女子の肥満の出現率が市内平均より高い。**
- ◆**視力**は以前は全国の値と比べて良かったが、**悪い方向**で近づいている。
- ◆**むし歯**になっていない率(健全歯者率)は5割前後で推移している。全国の状況にはまだ及ばない。本校は**未処置者の割合が多い**。また、歯・口腔状況が良い児童と悪い児童の**二極化**が見られる。
- ◆**歯垢**や**歯石**、**歯肉炎**といった**歯の汚れ**の程度を表す指標は**改善**している。
- ◆**歯科保健指導**で今年度は4年ぶりに**歯垢の染め出し**を行い、児童は“磨いたつもりでも歯垢を落とし切れていない”と気付くことができた。
- ◆**体力テスト**の結果は、持久力、敏捷性、瞬発力に関わる数値が**落ち**ている。遊びを通じて体力をつけられるように、児童会がドッジボール大会やおにごっこを企画し、皆が楽しく身体を動かす機会を増やそうとがんばった。
- ◆**休み時間**にも室内でタブレットを使う児童がいて、外で遊ぶ児童との**2極化**が見られる。
- ◆**先進校の取組**(自由に使って遊べるボールの数を増やす、握力計を気軽に使えるように置いておくなど)を参考にさらに工夫していきたい。
- ◆**情報機器**を毎日1時間以上利用している児童は全校平均で56%。前回調査よりも2ポイント増加している。使用する時間の上限など、**約束を決めて**いない家庭が16%ある。
- ◆**出会ったことのない人と**メールやオンラインゲームで**やりとり**をしたことがある児童は5名いた。重大なトラブルは今のところ把握していない。
- ◆**目を守る**使い方や、マナーやモラルの指導など、**より良い使い方を家庭の協力のもと**で継続していく。
- ◆**食育**について、昨年度の反省や年度初めのアンケート調査結果をもとに、「**朝食に野菜を食べよう**」と働きかけた。前向きに取り組んだ児童が多かった。保護者のご協力に感謝したい。



<参加者>

内科校医: 國屋正史(内科)

歯科校医: 西村歯科・原 真理

学校薬剤師: 川瀬 章

PTA 役員: 会長、副会長

学校職員: 校長・教頭・保健担当・体育担当
生活指導担当・食育担当

<意見交換・感想・指導事項> (抜粋)

ケガの対応について: 受診にくい地域の医療事情があるので、保護者には迅速に連絡が欲しい。受診する、しないは保護者が判断する。

⇒努力する。

裏面に続く

感染拡大防止の対応について：学級閉鎖をする基準は？感染症が発生したら早く知らせて欲しい。

⇒ 1学級に2人以上、同じ症状による欠席者がみられたら流行を意識する。何人以上の欠席で学級閉鎖というような基準はない。関係機関と相談しながら市教委とともに判断することになる。

診断名の公表については感染拡大抑止に重要な情報だが、個人情報でもあり、慎重にせざるを得ない。流行が危惧される際には、保健室だより・学級通信などでお知らせし、学級でも注意を呼びかけている。

子どもたちの心のケアについて：「いじめについての重大事態はない」という報告だが、何をもって重大事態とするのか。また、スクールカウンセラーのカウンセリングを受けた児童の情報共有などはどうなっているのか。

⇒ いじめは積極的に認知するようにしている。被害側がいじめと感じればいじめとして報告する。重大事態については、「生命・心身・財産に重大な被害が生じた疑いがあると認める事態」と法律に定義されている。本校ではそれにあてはまる事案はなかったととらえている。

⇒ 子どもたちの集団スタイルが変化していると感じる。距離感が以前とは違う(遠い)ことで、ちょっとした行き違いがトラブルになりがち。

⇒ (スクールカウンセラーについて) 教師とは違った視点での児童理解は大変有効であると感じている。カウンセリングの結果の共有については、カウンセラーの判断で行われる。

校医 助言 (國屋)

：学校ではけががなく6年間過ごして卒業させることが最大の目標だ。

：視力については、以前から人種による特性(アジアに多い)や、勉強など近見作業との関連は指摘されていた。年齢と共に、ある程度悪化するのには致し方ないと思う。姿勢を正すとか、遠くを見るなどの指導により悪化を遅らせる必要がある。一日のうち屋外で2時間以上過ごすことが近視予防に良いと、近頃よくいわれている。



学校薬剤師 川瀬

：環境衛生検査の結果、空気中の二酸化炭素濃度や照度は基準内であった。

照度検査の結果は照明器具がLEDに交換されたことで効果が出ている。しかし廊下の端の方や北側の校舎など、薄暗いと感じるところはまだはある。

手洗い場の下スペースが(湿気で)たいへん不衛生になっている。昨年度も指摘したが改善されていない。今後の改修項目として検討してほしい。

その他書面で「子どもたちの体力低下が心配なので、校時表を変更するなど、もっと遊べる環境を整えてほしい。」という意見も頂きました。

PTA 役員の皆様には、会議に参加して下さったり、紙面にてご意見をお寄せ下さったりと、保護者の生の声を聞かせていただきました。ありがとうございました。協議の内容や、頂いた意見は今後の取組に活かして参ります。

保護者の皆様には、一年間、学校からの様々な提案や依頼に添えていただきました。お忙しい中でもご理解・ご協力いただいたことに感謝申し上げます。

子どもたちの健やかな育ちのために、学校と家庭、さらには地域の皆様との連携を深めていくことが必要不可欠です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

